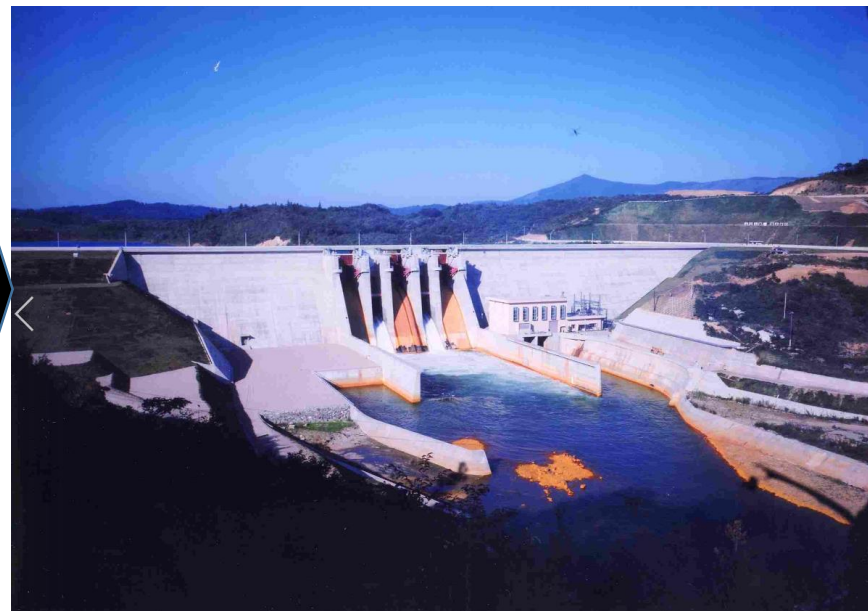


濁り水が一夜にして青く澄んだ水に変身

ダム湛水前(建設中)の状況



ダム湛水開始後の状況



四十四田ダム建設当時の北上川は、上流の旧松尾鉱山から流れ出る強酸性の赤褐色の濁った水のため、魚の住めない「死の川」となっていました。

しかし、昭和42年10月にダム完成に向けた試験湛水が始まると、赤褐色だった水色は一晩にして青く澄んだ水に変わりました。

その様子を見た人々からは、驚きと感動で体が震えたとの声も聞かれました。